

3-12. 第6回しずおか環境・森林フェアへの出展

担当研究室

生態化学研究室(橋本伸哉, 藁科 力)

環境工学研究室(岩堀恵祐, 関川貴寛)

11月14～16日(金)～(日)の3日間、ツインメッセ静岡にて「第6回しずおか環境・森林フェア」が開催された。静岡県立大学環境科学研究所は、第1回よりこのイベントに参加し、来場者の方々に本研究所の環境への取り組みを広く知って頂く様、務めてきた。今回も本研究所13研究室のこれまでの環境研究成果と現在の研究内容をパネル展示にて紹介した。本研究所の出展ブースを訪れた方々は、特に環境について興味のある方が多く、研究内容に関して多くの質問が寄せられた。中には企業の方からの質問や問い合わせ等もあり、産学関係による研究の可能性も感じられ、好評の内に終了した。

今年は、洞爺湖サミットで地球規模の環境問題として地球温暖化が取り上げられた事、温室効果ガスの削減目標を定めた京都議定書の約束期間の終了が迫っている事などがマスメディアに取り上げられ、多くの人が改めて環境問題に関心を寄せていると思われる。このような状況の中で、今後も「しずおか環境・森林フェア」に参加し、県民の皆さんと本研究所が環境問題について対話できたらと考えている。

3-13. 高大連携講義

高校名： 県立静岡農業高校

開催日時： 2008年9月19日

担当者： 伊吹裕子

講義テーマ： 「光触媒」の不思議を科学する

【講義概要】

光触媒とは何か、環境に視点をおいたその利用技術(水の分解、環境浄化など)、さらには問題点について講義した。途中、ブラックライトを用いたミニ実験を取り入れ、光および励起反応についての理解を深めた。また、大学院生活について、研究室の大学院生の一日を追った写真を見せながら紹介した。

3-14. 環境科学研究所ファカルティデベロップメント(FD)活動

担当： 谷 晃(全学FD委員)

今年度より全学委員会としてファカルティデベロップメント(FD)委員会が立ち上がった。FD活動の大学院および学部の義務化に伴い、各部署で精力的に取り組むことになった。本年、環境科学研究所および環境物質科学専攻としては以下の取り組みを実施した。

① FD 講演会(食品栄養学部、生活健康科学研究科と共催)を9月26日に開催し、東京大学の石浦章一教授に講演いただいた。内容は東京大学教養学部でのFD活動の取り組みであった。

② 専攻セミナーを学生による運営にて実施した。教員は企画、準備段階からほとんど関与せず、博士課程の学生を中心としてセミナーを運営した。以前より学生から多くの質問がでて、セミナーに参加する学生の積極的な姿勢が見られた。